

ママのお仕事って
すごいね



パパ
かっこいい



子ども



お仕事参観日

実施しました。



パパみたいに
なりたいな



「子どもお仕事参観日」とは、保護者がどんな職場で働いているかを子どもたちが見学する日。

子どもと職場の方々が交流することで、それぞれに大事な家族があるということを、

社内全体で再認識できる特別な1日です。

子どもお仕事参観日を実施した企業をご紹介します。

両立支援の取組は企業にとっても大きなメリット!

1

優秀な人材の 確保・定着

従業員のライフスタイルに合わせた支援をすることで、優秀な人材の確保・定着やイメージアップにも。

2

従業員の意欲と 生産性の向上

従業員が家庭生活を充実させることで、視野の広がり、モチベーションや業務の質の向上に。また、業務を補う同僚の能力もアップ。

3

仕事の内容や進め方の 見直し、効率化

育児・家事などの経験は、仕事と両立させるために、業務配分や仕事の進め方を見直すきっかけとなり、業務の効率化も。

株式会社シャディハッピー

■業種／卸売・小売業 ■従業員数／10人
<http://shaddy.jp/tenpo/akita/noshiro/21070-000.html>

当日のスケジュール

- 10:00 集合・挨拶
- 10:10 店舗案内・販売商品の説明
- 10:30 ラッピング体験・熨斗作り
- 11:00 パパ・ママへのメッセージづくり
- 11:15 記念撮影・終了



贈るシーンを思い浮かべながら説明を聞きました



ギフトをラッピングし熨斗をつけて完成

<参加者>中学生4名

子どもたちと会長が挨拶した後、店舗内の商品を説明しました。その後、ギフトのラッピングを体験。2種の包装方法をレクチャーしました。子どもたちは熨斗(のし)を作ったり、リボンを仕上げたりしながら、一つ一つ丁寧に作業をすすめ、「この体験をこれからの生活にも生かしたい」と話してくれました。

保護者から



奥村店長

私たちが職場で挨拶をしている姿やお客様との接し方を見ることで、子どもたちには仕事とはどういうものなのかを実感してもらえたと思います。子どもたちの将来のことを考えると、もっと参観日を実施してくれる会社が増えてくれるといいですね。

職場の方から

藤田社長

結婚や出産・子育ては会社としてもサポートしたいと考えています。仕事と家庭のどちらも大切に、バランス良く働いてもらうことが理想です。仕事が忙しい時はご家族が支えてくれていますので、子育てで大変な時は会社が支えるという、お互いに良い関係を築いていければと思います。

信太さん

社員のお子さんとふれあう機会はあまりないので、今回の企画は新鮮でした。私も子育て中ですが、子どものことを考えてくれる会社だと感じています。先輩とも子育ての話をしたり、アドバイスをもらったり。いろいろな考え方を知ることができるのも、職場ならではのメリットだと思います。

秋田協同印刷株式会社

■業種／製造業 ■従業員数／75名
<http://www.akyodo.co.jp>

当日のスケジュール

- 15:00 集合・挨拶
- 15:10 夏の思い出をお絵かき・制作室見学
- 15:50 工場見学
- 16:30 パパ・ママへのメッセージづくり
- 17:00 メッセージ贈呈・子どもへのプレゼント・記念撮影・終了



できあがった印刷物を見せてもらいました



印刷機を見つめる表情は真剣そのもの

<参加者>小学生2名

社員が子どもたちを引率し、社内を案内。制作室や印刷工場で保護者の働く姿を間近に見学してもらいました。社員が子どもたちに声をかける場面が多くあり、保護者以外の社員とも交流しました。最後にサプライズで子どもたちが描いた絵をハガキにしてプレゼント。驚きつつも嬉しそうな笑顔を見せてくれました。

保護者から



小熊さんご夫妻

社長が「子どもを第一に考えなさい」と顔を会わせるたびに声をかけてくれますし、職場の皆さんにはいろいろ協力してもらっています。チーム長をやっているので、日々仕事の効率を上げるよう努力しています。

職場の方から

藤原専務取締役

子どもたちにも社員にも刺激になったようで良かったです。当社では、社員が子どもの行事や病気で休む際は、仕事を分けてサポートする体制をとっています。繁忙期はどうしても遅くなってしまうこともありますが、早めに帰れるよう配慮したり、幼稚園のお迎えの時間なども職場内で意識するよう心がけています。

小笠原さん

子どもお仕事参観日には感動が一杯で、子育ては大変というイメージが変わり、自分も子どもが欲しいと思いました。出産しても仕事を続けられる職場環境をつくりたいですね。